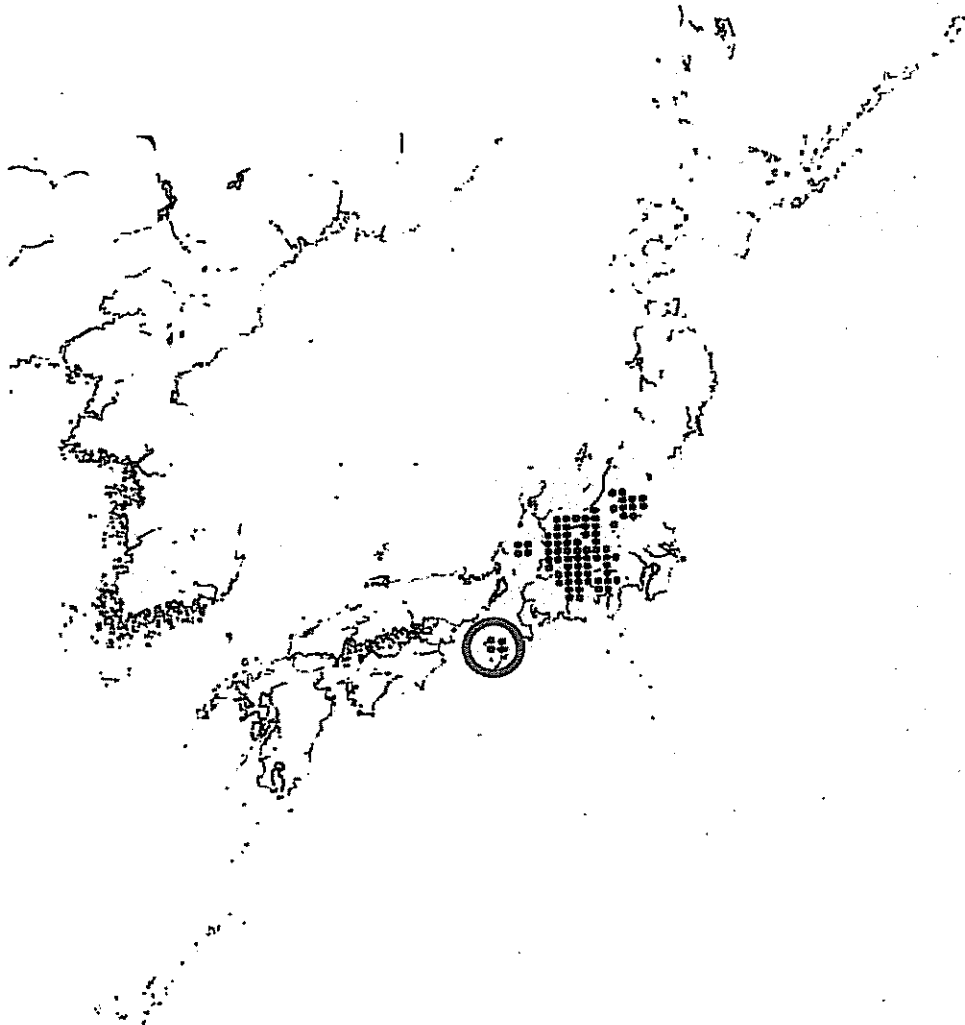


資料4-2 大台ヶ原のトウヒ林

トウヒ群落

大峰山系、大台ヶ原の海拔 1,560m から 1690m までには、トウヒの優占する亜高山性針葉樹林が分布する。トウヒは代表的な亜高山性の常緑針葉樹で、日本では北海道に分布するエゾマツの変種とされている。トウヒは本州中部山岳地に分布し、紀伊半島はその南限にあたっている。大峰山系の八剣山から釈迦ヶ岳にむかう稜線沿いには発達した純林に近い植分を見ることができるが、大台ヶ原のトウヒ林は遊歩道に接して日出ヶ岳直下の林分は倒木が目立っており、日出ヶ岳と正木ヶ原の間のゆるやかな尾根状地のトウヒ林は最近数年シカの食害が目立って枯死木も多い。

(『日本植生誌 近畿』、宮脇 昭、昭和 54 年)より抜粋)



トウヒの分布

「Atlas of the Japanese Flora I」(Horikawa, 1972)より抜粋